

## やっとかめ文化祭への参画

代表者	人間文化研究科 教授 吉田一彦
連絡先	yoshida@hum.nagoya-cu.ac.jp
連携・協力者	やっとかめ文化祭実行委員会、名古屋市観光文化交流局、長慶寺、長母寺、廣福寺
ポイント	地域のイベントと学生が連携した取り組みです。

### 1 概要

- ・平成29年11月18日、やっとかめ文化祭「まち歩き」の一環として、「無住法師と山田氏関連の寺をめぐる」をテーマに、名古屋市の小幡・矢田にある長慶寺・長母寺・廣福寺をめぐるしました。
- ・また、教養教育科目「地域連携参加型学習」において、28年度から毎年度「やっとかめ文化祭の研究」班を設置し、やっとかめ文化祭の魅力と課題について若者の視点から研究しています。

### 2 活動内容

- ・「まち歩き」については、平成29年6月頃から人文社会学部の学生がテーマを決め、資料調査とフィールドワークを重ねて、パンフレットもすべて自分たちで作成したうえで、当日、市民の方々を案内しました。名古屋市はやっとかめ大使の応援も加わり、学生達は緊張しつつも調査結果を真剣に披露し、市民の方々は熱心に聞き入っていました。
- ・「やっとかめ文化祭の研究」班は、名古屋市観光文化交流局のやっとかめ文化祭担当者と連携して、やっとかめ文化祭に参加しました。



長慶寺での学生による説明の様子

### 3 成果

- ・「まち歩き」については、普段の大学の授業では関わる機会の少ない市民の方々に実際に接し、自分たちの勉強成果を伝えるという経験は、学生達を大きく成長させました。市民の方々からは、「長年住んでいるけれど、このように歴史のある魅力的な場所があるとは知らなかった」、「若い学生がそれを勉強して伝えていこうとする意欲が伝わってきた」という意見を頂き、このような活動が学生と市民を繋ぎ、地元名古屋の歴史や文化を継承していく一つの方法になるという、手応えを得ることができました。
- ・「やっとかめ文化祭の研究」班は、令和2年1月に名古屋市などの関係者を招いて開催した最終プレゼンテーションにおいて研究成果を発表するとともに、『やっとかめ文化祭の研究』というレポートをまとめました。



学生が制作したパンフレット